

料金別納

ゆうメール

【返還先】

(有) 渕野陶磁器原料
〒849-1426 嬉野市塩田町
五町田乙 287-1

磁器 シキよまんば!

2024.7
38

[早くよまなきゃ!]

巻頭のあいさつ

鑄込み泥漿作製

最近、地元の産地の方からも「鑄込み泥漿の作り方を教えてほしい」や「鑄込み泥漿を作ってほしい」というようなご依頼があります。

きっかけは、当社のブログとYoutube 動画です。これらをご覧になった方々が、困りごとを相談してみようと思われるようです。元々これらは宅配便でお届けしている方々のお役に立てばと作成したものでしたが、まさかそれを地元の方が参考にされるとは思ってもいませんでした(笑)。

ブログと動画は、珪酸ソーダなどの解膠材を用いて、水分が少な

くても流動性があり、鑄込み成形で使用するのに適した泥漿の作り方を解説しています。



ブログ 動画



鑄込み泥漿でのご注文も承っております。ホームページに情報はございませんので、まずはお問い合わせください。

神谷紀雄さま安田直子さま 展覧会

6月30日から9月8日まで、奈良県生駒市の緑ヶ丘美術館にて、神谷紀雄さまと安田直子さま、それぞれの展覧会が同時に開催されます。神谷さまとは父の代からのお取引です。

今回、2か月ちょっとの期間があるので、その間に時間を作って見に行くつもりです。久しぶりに出かけますので、ご用の方はお声かけください。タイミングが合えばお会い出来るかもしれません。

渕野直幸



看護師として新たなスタート!

次女の水咲です。この3月に西九州大学看護学部を卒業し、4月から地元の嬉野市内にある国立病院機構嬉野医療センターで看護師として勤務しています。



医療センターからは、採用選考を経て7月に内定をいただいていたが、本採用となるには国家試験に合格することが条件でした。もし試験に落ちた場合、採用は取り消されるため、一生懸命に勉強しました。

そして迎えた受験。2月9日が保健師、2月11日が看護師の試験でした。私は将来、保健師の仕事もしてみたいので、大学では看護師と保健師、両方を受験するコースに在籍していました。

試験を終え、学校で行った自己採点の結果はまずまずだったので、ホッとしました。ひと段落したので、その後は友達と卒業旅行の計画を立てました。これまで実習ばかりでなかなか遊びに行けなかったので、最後は思い切り楽しい時間だけにしかかったです。

卒業旅行は、卒業式直前の3月13日~15日の2泊3日でまずは北海道へ。サヤカちゃんとカノンちゃんと私の3人で、サッポロビール園・AOAO SAPPORO・小樽観光などを巡りました。おたる水族館にも行きたかったの



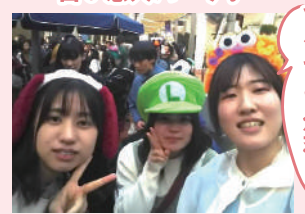
サッポロビール園でビールの中?!

ですが、休館日だったため代わりにサンピアザ水族館へ。そして北海道といえばラーメン! 毎日違うお店で食べました(笑)。

15日の夜10時ごろ福岡空港に帰ってきて、サヤカちゃんとカノンちゃんと別れ、その足で23:15発の夜行バスに乗ってUSJへ。大阪行きはレナちゃんと一緒にです。16日の朝、大阪駅へ到着して午前中は、なんばの街をブラブラ。USJは2デイ・パスなので午後から入場し、現地でユウちゃんも合流して3人で満喫しました♪

帰りも夜行バスで、自宅へ戻ったのは18日の午前中。そして19日に佐賀市文化会館で卒業式を迎えました。当日は、家を朝6時ごろ出て、会場に近い短大で7:30から着付けを行い、袴姿で会場へ。10時から開式。式が終わると洋服に着替え、18:30からは謝恩会へ参加しました。

怒涛の一週間を過ごし、22日よいよ合格発表の日を迎えました。発表はオンラインで行われ、私の受験番号を見つけました! そして今こうして看護師として働くことが出来ています。





デザイナー友永が行く!

嬉野市にある築100年の古民家カフェ D-COFFEE

このニュースレターを制作させていただくにあたり、打ち合わせのために私の住む糸島から瀬野陶磁器原料さんがある佐賀県嬉野市に車でやってきます(ちょっとしたドライブ気分♪)。方向音痴なので、毎回 Google マップに頼り切りなのですが、その時の車の混み具合から、驚くほど山道を通ってくる必要があります(泣)。そんなときは打ち合わせの前にすでにへっぴりです^^;

コロナ以降、オンラインが急速に普及し、全国各地どこにいても打ち合わせができたりと大変便利になってきました。ですが、私は打ち合わせはリアルが好きです! その理由の一つが、打ち合わせのついでの寄り道(*^w^*) せっかく来たのだから、その地でしか楽しめないことをしないと勿体ないと思ってしまうのです(笑)。

今回はゆっくりした時間を過ごしたいなあ〜とカフェでまったりすることに。伺ったカフェは嬉野市にある築100年の古民家をセルフリノベーションしてオープンされた D-COFFEE さん(佐賀県嬉野市塩田町久間乙1044-3)。オーナー夫婦はご主人の実家が嬉野市のお隣、鹿島市だったこともあり、2年前に千葉県船橋市から移住されてきたそうです。

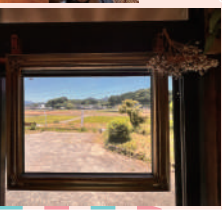
古民家ならではの落ち着いた空間で、眼前に広がるのどかな景色をぼんやり眺めながら飲む、奥さま自ら焙煎されたコーヒーは格別です☆

地域の皆さまとミニコンサートをやったり、一緒に畑で野菜を作ったりとコミュニティ的な場所にもなっているようです。仕事とセットでパワーチャージできるこの寄り道はやめられません(笑)。 友永 真麗



♪こういっかツツ最近よくみるのですが、理科の実験を思い出してしまうのは私だけ?

♪窓の縁に頼縁が飾ってあって見る時期や人によって違った絵画が楽しめます♪



♪お店前の畑でお客様と一緒に野菜を育てている



第34話 会長さんの昔話

久しぶりの昔話です。お話しするネタが尽きてきたことと、他のコーナーとの兼ね合いでしばらくお休みしていました。体調不良ではありません。まもなく80歳になります。が、元気にしておりませう!

嬉野医療センター(昔の国立病院です)で看護師として働くようになり嬉しいかぎりです。上の孫娘は嬉野市の隣、鹿島市の小学校の教員なので、同居している孫娘は二人とも自宅から職場まで通勤しています。今回は、ゴム手袋がなかった頃の話をさせていただきます。私たちがゴム手袋を使うようになったのは、昭和45年前後ではなかったかと思いません。ゴム手袋の登場はそれはそれは画期的でした。

ゴム手袋によって冬場の作業が格段にラクになりました。それ以前は素手で作業していました。機械の修理などでは軍手を使うことはありましたが、粘土など水分を含むものを扱う際は常に素手でした。フィルタープレスという機械で、液体の粘土から水を抜いて板状にします。出来上がった板状の粘土を、機械から取り出し、土置き場に積み上げていきます。当時はフィルタープレスが3台。1台で40枚ほどの板状の粘土が出来ていました。それを1枚ずつ素手で取り出します。夏場は何ともありませんが、冬、それも氷点下近くになるような時期は、作業をしていると手がかじかんでしまいます。手が動かなくなると、しばらく作業が止まってしまふので、5〜10枚ほど取り出すたびに、お湯に手をつけて温め、再び粘土を取り出す。この作業を繰り返して、機械の中の粘土を全部取り出していました。冬場、手を温めるため

どの板状の粘土が出来ていました。それを1枚ずつ素手で取り出します。夏場は何ともありませんが、冬、それも氷点下近くになるような時期は、作業をしていると手がかじかんでしまいます。手が動かなくなると、しばらく作業が止まってしまふので、5〜10枚ほど取り出すたびに、お湯に手をつけて温め、再び粘土を取り出す。この作業を繰り返して、機械の中の粘土を全部取り出していました。冬場、手を温めるため

のお湯を準備するのは父でした。毎日を汲んで羽釜に入れ、練炭火鉢の上で沸かし、それをバケツに分けて、水で湯温を調節して、各作業場に配置する。時間が経つとお湯が冷めるので、作業時間を見計らってまたお湯を準備してくれました。そうすることで、私たちが作業に専念できるようにしてくれていたのです。 瀬野義則



ニュースレターの送付停止はホームページから簡単にできますのでご利用ください。▶▶▶

瀬野 陶磁器



<https://www.fromform.jp/>

有限会社 瀬野陶磁器原料 〒849-1426

佐賀県嬉野市塩田町大字五町田乙287-1

TEL 0954-66-4207 / FAX 0954-66-3747 / E-mail info@fromform.jp

このニュースレターは、これまでご注文いただいた方、サンプルをお送りしました方、名刺交換をさせていただいた方など、ご縁がありましたみなさまにお送りしております。必要のない方は、たいへんお手数ですがその旨を上記までご連絡ください。

近年、「これまでにない暑さになる」と毎年言われますが、今年の夏はどうなるのか今から怖いです…。